第 17 回（令和 6 年度第 2 回）タウンミーティングの概要

１　団体名　奈良小学校区連絡会
　　代表者　会長　森田和弥

２　開催日等
（１）開催日　令和 6 年 4 月 27 日（土）
（２）会　場　奈良公民館
（３）テーマ　これからの熊谷市

３　意見交換の概要
※ [　　] 内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市民　道の駅については、事業の優先交渉権者が決まったようですが、道の駅のオープン予定はいつ頃になりますか。事業計画を教えていただきたいと思います。また、道の駅の集客の目玉は何になるかを教えていただきたいと思います。

市長　道の駅は、食のテーマパークということでスタートし、令和 10 年 3 月を開業予定としています。小麦を中心とする熊谷の食文化をはじめ、生鮮食品、特に産地直送の野菜を揃え、レストランなどもしっかりと取り組みたいと思っています。心配なのは、熊谷市は温泉や海、山などの観光資源が乏しく、たくさんの方が観光で訪れるのは厳しいだろうという思いもあり、もう一つの目玉として、小さなお子さんの遊び場をしっかり確保しようと考えています。

今日は少し雨模様ですが、こういったときに、子育て中のみなさんがお子さんを連れて出かけられるように、屋根があって雨に濡れない、もしくは寒さ暑さをしのいで楽しめる場所、市民にとっても心のより所となり楽しんでいただける場所にしたいと思っています。昨年屋外プールが無くなりましたので、小さなお子さんが水遊びできるような環境を取り入れるなど、地域の皆さんから愛される道の駅を目指していきたいと考えています。

令和７年度には建設工事がスタートする予定です。

市民　荒川公園周辺再整備基本計画案に対する新たな調査を求める請願が採択されて、基本計画の見直しとなり、また、スポーツ施設の整備調査を担う審議会の条例改正案が否決されるなど完成までの時間が少しかかるようになったと思われます。新体育館の規模や完成年度はいつ頃になるのでしょうか。

市長　この請願は、体育館建設にあたり文化センターの敷地も考慮しながら、再検討してほしいというものですので、今そういったことを検討しながら、12 月

議会で、この返事を返すことになっています。

これまで計画案作成のため約3,300万円の費用がかかっています。また、人件費や資材の高騰により、ことによると数年前に比べて建築費が3、4割の増加も見込まれます。それ以上にお金がかかるのか、少し心配な点もありますけれども、再度見直しをさせてもらっています。

ただ、いろいろな意見があります。一つは、せっかく造るのであれば、バスケットやバレーボールのプロチームの本拠地にするために必要な 5,000 人の観客が入れる規模にしてはどうだろう。もう一つは床面積を深谷のビッグタートルより大きくして様々な大きなスポーツ大会を誘致しようということです。観客数を取るのか、それとも床面積を取るのか、もし両方が合わさるのであればそれに越したことはありませんが、再度検討するきっかけもいただけたかなと思っています。

また、今回の請願は、荒川公園の自然を守ってほしいという声も多かったようですが、この公園は昭和 42 年の埼玉国体の頃に整備され 60 年以上経過しています。そのため、公園の規模と比較し大きくなりすぎた樹木の維持、管理や枝の剪定、落ち葉の処理など自然林と異なり、公園利用者の安全確保や周辺住民の生活に配慮した管理が必要な状況ですので、そういったことも改めて地域の皆さんと話し合いながら進めたいと思っています。

このエリアは体育館だけではなく、熊谷駅の南口の再整備や荒川の河川敷の整備の検討など、ここ一帯を新しいものに整備する取組も動いています。

市民　市民体育館では、熊谷市スポーツ協会がメインで体育教室をいろいろやっていると思いますが、場所がなくなってしまうのは困ったなと思っていますが、その辺も考慮していただければと思います。

市長　当初の計画は、現体育館を使いながら荒川公園に整備するということで、切れ目のない利用を、特にお子さんたちの屋内スポーツの環境を守りながら進める計画になっていました。しかし、今回の請願に沿って整備すると、体育館と文化センターを除却して、新しくあそこに建ててほしいということですから、まさに継続したくてもできなくなる心配もあります。

ですから、荒川公園の再整備として進めるよう今後も協議したいと思います。

文化センターについては約12億円かけて耐震工事や施設整備を行ったばかりということもあります。

市民　公共施設再編計画で、公民館の機能が七つのセンターに集約され、社会教育施設が充実していきます。1つ目が勤労会館のところで工事が始まり、奈良地域は大幡、中条と同じ区域に統合される予定と聞いており、場所はくまぴああたりかなとは想像していますが、その辺の事業はいつ頃になりますか。

また奈良公民館が令和 7 年度からアグリメイトに移転することが正式に決

まったようです。アグリメイトでは、今までと同じような公民館活動を行うことができるのでしょうか。

市長　市内の公民館を 7 館に集約して、今ある公民館は地域会館という形に再整備するという案を前市長から引き継ぎました。

第 1 中央、第 2 中央（勤労青少年ホーム跡地）、第 3 中央、東部、西部、南部、北部の各生涯活動センターとして 7 館を整備する計画です。

公民館を所管する教育委員会とアセットマネジメントを所管する総合政策部では、地域の皆さん方の繋がりを考え公民館機能を残したいと思う一方で、合理的な運営をするためには貸館業務がいいのではないかなど、まだ結論は出ていないことを申し上げます。

この奈良地区と、大幡、中条の 3 地域をまとめるのが、くまぴあを中心とする公民館になると思っています。くまぴあも結構、使用頻度が高いのでどこまであてにできるか心配な点がありますので、古くなった公民館を順次地域会館として建替えを進めたいと思っています。

ここにはアグリメイトがありますので、アグリメイトに公民館機能を移転し、ご利用いただく考えです。生涯活動センターを順次整備して、地域の交流の柱としたいと思っていますが、まだ少し時間もかかりますので、地域の皆さん方の声も伺いながら進めたいと思っています。

市民　アグリメイトを使うときに不自由なのが予約の際にスリッパに履き替えること。もう一つは駐車場です。駐車場の確保とオープンスペースだけでも土足で動けるように配慮してほしいと思います。

市長　土足については管理の問題があるので、少し検討させてください。

駐車場については、隣接するグラウンド部分は公園ですから常時駐車場としては使えません。公民館機能の移転後はこの建物も除却しますので、駐車スペースは広くなると思います。ここをご利用いただければと思います。

（**農業政策課**）農業政策課主催の市民料理教室や市民や団体が行う調理や食品加工等が、食品衛生上安全安心に行えるよう館内ではスリッパに履き替えていただいています。

館内の一部を土足使用にすることについては、食品衛生上の安全や安心を保持できるか等を観点に検討します。

市民　学校給食センターについては、公共施設再編の中で、市内全域をセンター方式とする計画のようですが、どこにいつ頃完成の予定ですか。

市長　場所は現給食センター西側の隣接地です。まさに熊谷市の真ん中であり、今ある給食センターも使いながら、新たな施設も造っていけます。

スケジュール的には、令和 8 年から建設を始めて令和 10 年の 9 月に使用を開始したいと思っています。

新センターの特徴は、ＨＡＣＣＰという食品衛生管理の基準をクリアすること、炊飯が可能となるため温かいご飯を届けられること、地産地消の促進などがありあます。

また、災害時の炊き出し機能等も備える予定です。

市民　北部地域振興交流拠点については、今後、具体化に向けて議論を深めていくようですが、市として市役所機能移転構想を描く中、庁舎整備検討委員会の会合が 2 月 20 日に開かれました。今後、どのように進めていくのでしょうか。

市長　テクノグリーン構想から数えて約 40 年が経過し、市庁舎も築後 52 年目となりました。今から計画して、6 年後には使い始めましょうということですから、ちょうど耐用年数 60 年を迎えるタイミングにもなります。県の熊谷地方庁舎には、北部地域振興センターや保健所、県税事務所などの出先機関がありますが、ここもだいぶ古くなってきました。県と市の行政機能が一つになり、ワンストップで用事が済むようになれば、車で移動する必要もなく時間の短縮もできます。このようなメリットを市民の皆さんが享受できる施設にしたいと考えています。

第 1 回目の検討委員会が終わり、今度は県と熊谷市で、どういったものにするかという議論をしています。もう少し時間がかかると思ったのですが、大野知事の考えでは昨年の段階で 7 年後に使用開始ということでしたのであと 6 年しかありません。完成まで、一般的には建築だけでも 1 年では終わらない。設計図を引くのにも建てるのと同じぐらい時間かかります。この二つの作業だけで 4 年かかるでしょう。

その前に素案を作ります。検討委員会等を通して出た意見をまとめて素案にしてさらに議論を重ね、その結果で設計図を作り建築という流れで、どう考えても 8 年はかかるだろうと思っていましたが 2 年短縮されます。本日同席の総合政策部長には、県との議論の中で、市は市でやりたいことをしっかりと県に伝え、必要な空間を必ず確保するようにという話をしています。

ちなみに、県と市が一つの敷地内に建物を設けるのは県内初です。全国的にも、熊谷市の人口規模の市役所と県の施設が一つの敷地内に入るのは初めてになろうかと思いますので、ぜひ楽しみにしていただきたいと思います。

大野知事は、埼玉県庁は熊谷市庁舎よりも古く、熊谷に造る庁舎を新しい県庁のモデルルームにしたいと言っています。まちなかの空洞が埋まることによって、新たな動きが出てくると思っています。そのことによって、今度は街も変わってくるということに期待していただきたいと思っています。

市民　石原の蚕業試験場跡地に、複合施設の児童センターが計画され、近々工事

に入るようです。どのような施設で、完成はいつ頃になるのでしょうか。

市長　場所は石原小学校の隣です。この中にこどもの居場所となるこどもセンター、120 人規模の児童クラブ、市内 4 ヶ所の保育所を集約した保育所、そして何よりもこれが一番の肝だと思うのですが、保健センターと休日・夜間急患診療所も併設します。お子さんのことで困りごとがあったときに解決できる環境をつくりたいと思っています。令和 8 年 3 月までに開業準備を整え、令和 8 年 4 月に供用開始予定です。

市民　利根川新橋の現状について教えていただきたいと思います。

市長　利根川新橋については、選挙公約 3 本のうちの 1 本です。国交省から二人目の副市長を招いた成果がこういうかたちで出ています。昨年、埼玉、群馬両県知事からＯＫをいただいたところで、早速今年の 2 月、3 月にはドローンで測量が行われました。

　完成時期については少し待ってください。これでドローン測量が終わりました。位置も決めます。位置が決まると、そこから初めて、地質調査が始まります。特に今回は川の中ですからこの地質調査によって、工事期間が大きく変動しますので、その結果を見るまでは工期が決められません。